

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 清甲

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		経営理念を明文化し、社内ミーティング等で従業員と共有している。								8	9											17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		外部人材の社会保険労務士や税理士等を活用し、建設業法に基づく、労働基準法や法令遵守の重要性などの周知徹底を行っている。下請会社や取引先と良好な関係を構築し、公正な取引を行っている。																			16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社として公正な取引に努め、仕入先等に対して不当な値引き等がないか確認している。											10								16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		代表取締役社長を統括責任者とし、各現場においては現場代理人を責任者として体制を整えている。																			16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産に関する研修等に参加している。								8.2 8.3	9												
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報になりえる書類等はすべてシュレッダーにかけている。また各PCやサーバーにはウイルスソフトを入れ、ID・パスワードを設定し、外部からの不法侵入対策を行っている。																			16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		協力的会社と定期的に情報交換をしている。また工事着工の際には、周辺住民への挨拶および説明に努めている。																			16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9			11				13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9											17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5					8						12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		差別や各種ハラスメントの禁止について就業規則に定め、職場環境の体制を整えている。					4.3 4.4 4.5				5.1 5.2 5.5											16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		各現場の安全パトロール・KY活動を行い、労働安全衛生活動に努めている。						3				8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		すべての従業員を正社員で雇用し、公平に対応している。									5.5			8.5							10.2 10.3		
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		労働時間短縮など働き方改革への取り組み、また全社員に有給休暇の取得奨励を行っている。							3			5.5			8.5 8.8						10.3		
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		資格試験、外部講習は全額会社負担とし、社内にて技術指導を行っている。									4	5.5			8	9							
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		毎朝始業前にラジオ体操を実施し、朝礼時に事故への注意喚起に努めている。健康診断の経費補助を行っている。										3			8							17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営や昇進昇格等に、人種・性別などの違いによる差別的待遇はない。定年後の継続雇用に取り組んでいる。									4.4	5.1 5.5			8.5						10.2 10.3	16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		感染症対策として、従業員のマスク着用を徹底し、不要不急の外出自粛等に取り組んでいる。事務所内では消毒液の設置、定期的な窓の換気等を行っている。また、密を避けるためオンライン講習を活用している。										3			8	9.1		11	12				
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●															8	9.1		11	12				
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●														3	4			8	9			12	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 清甲

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物は中間処理業者に委託し、適正に処理している。 マニフェスト伝票の管理を徹底している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		事務所の蛍光灯は、LED照明にしている。 簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出し把握する。 【予定】令和5年10月までに実施予定。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		使用する建設機械は排ガス対策型の機械を優先し使用している。 重機・車輛等のアイドリングストップ・エコドライブに努めている。 温室効果ガス排出量は、簡易計算シートを用いて算出し把握する。 【予定】令和5年10月までに実施予定。			2.4				7.2	7.3	7.a			12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		廃プラ・レジ袋の削減に努めている。 廃棄物を適切に処理し、環境に配慮している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		コピー用紙の裏紙利用に取り組んでいる。 廃棄物の分別を徹底し、再生利用に取り組んでいる。										9.4		12.2	12.4	12.5	14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		現場及び事務所において節水に努め、汚水等も適切に処理している。			2.4			6.1	6.3	6.4	6.6				11.5			14.1	14.2	14.3	15	17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生紙の利用を推進している。 消耗品については環境に配慮した製品の購入に努めている。										9.4		12.4	12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●					1	2			6.4						12.3			14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		各現場事務所で植栽プランターの設置に取り組んでいる。												11.6	11.7		13.1	13.3	15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1	7.2	7.3	7.a	9.4		11.5		13.1	13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3	11.4	11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1	6.3	6.6				11.3	11.4	11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		会社でマイボトル持参やエコバックを使用する等プラスチックの使用削減等に取り組んでいる。													12.2	12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2				13.1	13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1	7.2	7.3	7.a	9.4	11.6	11.a	12.8	13			17.2		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 清甲

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		各工事に対して、品質証明員を選定し、工事の段階毎に品質を確認し、社内検査を構築している。			3.9						9			12.4												
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		工事現場内では、段差を解消し安全に作業できるように、誰もが利用しやすい環境整備を行っている。									9.1	10	11.7											17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	工事で使用する材料、資材、木材等は、地元企業の県産材料を積極的に使用し、地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15						17			
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7						12.2	13.1		15								
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15						17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		県・町とボランティア活動協定を結び、地域清掃活動(ロードグリーンボランティア・社会貢献活動(除草))のボランティア活動に取り組んでいる。災害復旧活動・安全パトロール等も積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		ハザードマップ等を設置し、避難経路を把握している。事務所に防災備蓄や防災グッズを常備している。				4								11.5		13.1		16								
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	従業員が地域の消防団員に所属し、地域防災の担い手として活動している。消防団活動の際には、業務を優先させている。	1.5			3	4						10.2	11.5		13.1			16	17						
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1										
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	社員及び取引会社等とSDGsの勉強会・研修会を開催し、普及啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4					8.6		10.2											17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6													17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15					17			

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。